

神様からのプレゼント(感謝の気持ち)！



「目と口と鼻のけんか」秋田県に伝わる民話より
～2月の全校朝会より～

口に鼻が文句を言った。「俺は1日3回のご飯を食べて体を養っているのに、顔の一番下にいるのはおかしい！」すると、鼻だけに「ふふーん」と笑い、「1日3回ぐらいで、お前は偉そうなことを言っ
てはいかん！」「俺は24時間息をしてるんだぞ！だから俺の方がお前より上だ」そう口と鼻が言い争いをしていて、ふと上に目があることに気がついた。「おい、そういえば、目は何もしないで、俺たちを見下しているだけじゃないか」それならと二人で文句を言いに行くことになり、目に文句を言うと、目は、「口が偉そうなことを言うな、食べて良いものと悪いものと見分けてあげているのは俺だぞ！」「鼻が偉そうなことを言うな、俺が高いところから見張ってやっているから、転んで鼻の頭を怪我しないんじゃないか。」(中略) 三人で話し合っていると、上に眉毛がいることに気がついた。「眉毛は何もしないで、朝から晩まで寝たままだ、あんなしょーもない奴はおらん。一体何の仕事をしているんだ。」と三人で文句を言うと、眉毛は、「私は、顔の上にあって目や鼻や口にゴミが落ちないようにしています。でも私は、皆様方の動きに心から感謝しています。皆様のおかげでこうして元気でいられます。」と言った。口と鼻と目はそれを聞くと、反省して「もっとお互い感謝しよう」という事になったとか。

さて皆さん、このお話からどんなことが分かりましたか？ところで皆さんには、神様からプレゼントが贈られています。人間には、相手が喜んだとき、自分も嬉しくなっちゃう、という脳の仕組みがあるそうです。人が喜ぶことをやって、自分が人に喜ばれたとき、ものすごく幸せを感じる、そういう仕組みです。さて皆さんはどうですか？誰かを喜ばせることが出来ていますか？



【お礼】

1月末のある晴れた朝、登校中の児童が転倒し、両膝にけがを。そこに出くわした見守り隊の方、そして散歩中の地域の方が、ティッシュで出血を拭き取りマキロンを塗ってくださったり、カットバンを貼ってくださったり…。地域の皆様の温かさに心打たれた寒い朝でした。本当に有り難うございました。

4年生、どの委員会に！

自分達の生活する学校を、もっと過ごしやすいするために…！学校には、各種委員会が設けられています。この話題、以前にも紹介したかも知れませんが、学校は知的学習だけではない。自主的な活動や当番の活動を、企画・実践・反省・再企画…。このサイクルの中で、社会の一員として生き抜く力を付けることもとても大切なこと。

本校では、6年生の代替わりに、4年生が2月からそれぞれの委員会に属し、活動することになっています。4年生の子供達は、さてどの委員会に入ろうか？思案することになりますが、その選択の手助けをするのが5年生。5年生は、自ら所属する委員会の役割や活動をしての感想をまとめ、4年生にレクチャー&お誘いをしました。希望を調整する時間も必要となりますので、12月の内にその時間を設けました。そして間もなく、新体制で委員会が動き出します！



2020年12月23日 5校時実施！

なわとび大会

2月3日(水)5校時、なわとび大会を実施しました。立春とは名ばかりの、冷たい風が吹く中でしたが、青空の下、大縄は縦割り班で、そして、個人競技も行いました。今年は、さわやかタイム(朝の縦割り共遊の時間)の回数が十分に取れませんでした。上級生が下級生(特に1年生)に、大縄「8の字跳び」のコツを教える姿に心温まりました。また、短縄では、思い思いの跳び方に挑戦。



成功に喜ぶ顔、縄に引っかかって残念そうな悔しい顔も。それもまた良し。なわとび大会を契機に、ますます体と心を鍛え逞しい西部小の子供にな

って欲しいと感じたひとときでした。お忙しい中、沢山の応援、有り難うございました。(*o^*)

